

推進スケジュール

本ビジョンの計画期間は、令和6（2024）年度～令和10（2028）年度までの5年間とします。計画期間の中間年と最終年において評価・検証を行い、必要に応じて、事業計画や数値目標の見直しを行います。各事業の実施に当たっては、年度ごとに実施計画において検討・修正を行います。また、事業を「短期事業」「中期事業」「長期事業」の軸で実施までの期間を分けて示しています。

「短期事業」・・・着手済みの事業、ビジョン策定後すぐに着手する事業

「中期事業」・・・5年間で着手、実施する事業

「長期事業」・・・本ビジョンの期間である5年間で検討し、次期ビジョンでの実施を目指す事業

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
ビジョン推進			中間評価		最終評価
短期事業	実施				
中期事業	検討		立案		実施
長期事業	検討				

数値目標

本ビジョンによる成果を検証し、PDCAサイクルを回していくために数値目標を設定します。数値目標の考え方としては「量から質へ」、「観光需要の平準化による冬季誘客強化」、「宿泊日数増加による消費額増加」の観点から設定します。

目標値については毎年観測を行い、必要に応じて適正な数値を再度設定します。また、市民及び事業者の観光における満足度調査、労働生産性調査も実施していきます。

	基準値	目標値
国内旅行者 旅行満足度*1	68% (令和5年度実績値)	75% (基準値+10.0%)
訪日外国人旅行者 旅行満足度*1	89% (令和5年度実績値)	92% (基準値+3.0%)
国内旅行者1人当たり観光消費額*2	宿泊 30,653円 日帰り 7,475円 (令和5年度実績値)	宿泊 32,200円 日帰り 7,800円 (基準値+5.0%)
訪日外国人旅行者1人当たり観光消費額*2	宿泊 44,021円 日帰り 16,502円 (令和5年度実績値)	宿泊 46,200円 日帰り 17,300円 (基準値+5.0%)
国内旅行者 年間宿泊者数	1,549,830人泊 (令和4年分実績値)	1,705,000人泊 (基準値+10.0%)
訪日外国人旅行者 年間宿泊者数	187,959人泊 (令和元年分実績値)	244,000人泊 (基準値+30.0%)
観光入込客数	5,099,274人 (平成27～令和元年分平均値)	5,405,000人 (基準値+6.0%)

*1：満足度アンケート調査において「満足」と回答した旅行者の割合。 *2：現地で発生した費用のみの合算で、一次交通費用は含まない。

令和6年度
～10年度

松本市観光ビジョン

概要版

令和6（2024年）年3月 松本市

策定の目的

平成30（2018）年4月に策定した「松本市観光ビジョン」は、令和4（2022）年度までの松本市の観光施策の指標を示したのですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響が強く残っていたため、同年の改定を1年見送ることとしました。

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響、デジタル技術の進展と社会のDX化、ゼロカーボンに向けた取組み等、観光を取り巻く環境の大きな変化とともに旅行者の価値観や需要も大きく変化しています。

これらの変化を踏まえて、松本市の産業の大きな柱のひとつである「観光」の目指したい姿を改めて設定し、観光に携わる地域事業者、地域住民、観光関係団体等、全てのステークホルダー間で目標を共有し、それぞれの役割を果たしながら、一体感を持って取り組むために、その指針となる「松本市観光ビジョン」を策定するものです。

実効性を高めるための4つの視点・意見

本ビジョンの策定に当たり、専門家による各種統計データ等の分析、観光関連事業者・市役所職員によるワークショップ、有識者による検討会議等を行い、内外からの様々な意見を踏まえ本ビジョン策定を目指しました。

各種統計データ等

観光関連事業者の声

有識者の意見

市民の声

目指したい観光地像



あなたと“いきたい”まち
～繋がる・触れる・彩る 松本～



私たちの誇りである大いなる自然と文化は、日常生活に溶け込み、心に根ざし、次の世代へと繋がっていく。



このまちに住んでいる人と、集う人が、互いの日常に触れ、幸せを感じることで、大切な人とまた行きたいと思う。このまちで共に生きたいと思う。



その循環によって、

このまちをさらに彩り豊かにしたい。



それが私たちの願いであり、目指したい松本の姿です。



本市観光推進のキーワード

松本市の観光の現状や、本ビジョン策定のために行った2種類のワークショップの成果から、松本市の観光事業計画における、いくつかのキーワードが見えてきました。それらのキーワードを踏まえて、本ビジョンにおける目指したい観光地像、基本方針、施策の柱、事業例を決定しました。

キーワード① 市内全体での連携強化

キーワード② 観光産業の担い手・働き手不足

キーワード③ 冬季期間の観光需要の落ち込み

キーワード④ 歴史・文化・芸術・環境・産業の持続可能性

キーワード⑤ 高付加価値化・量から質へのシフト

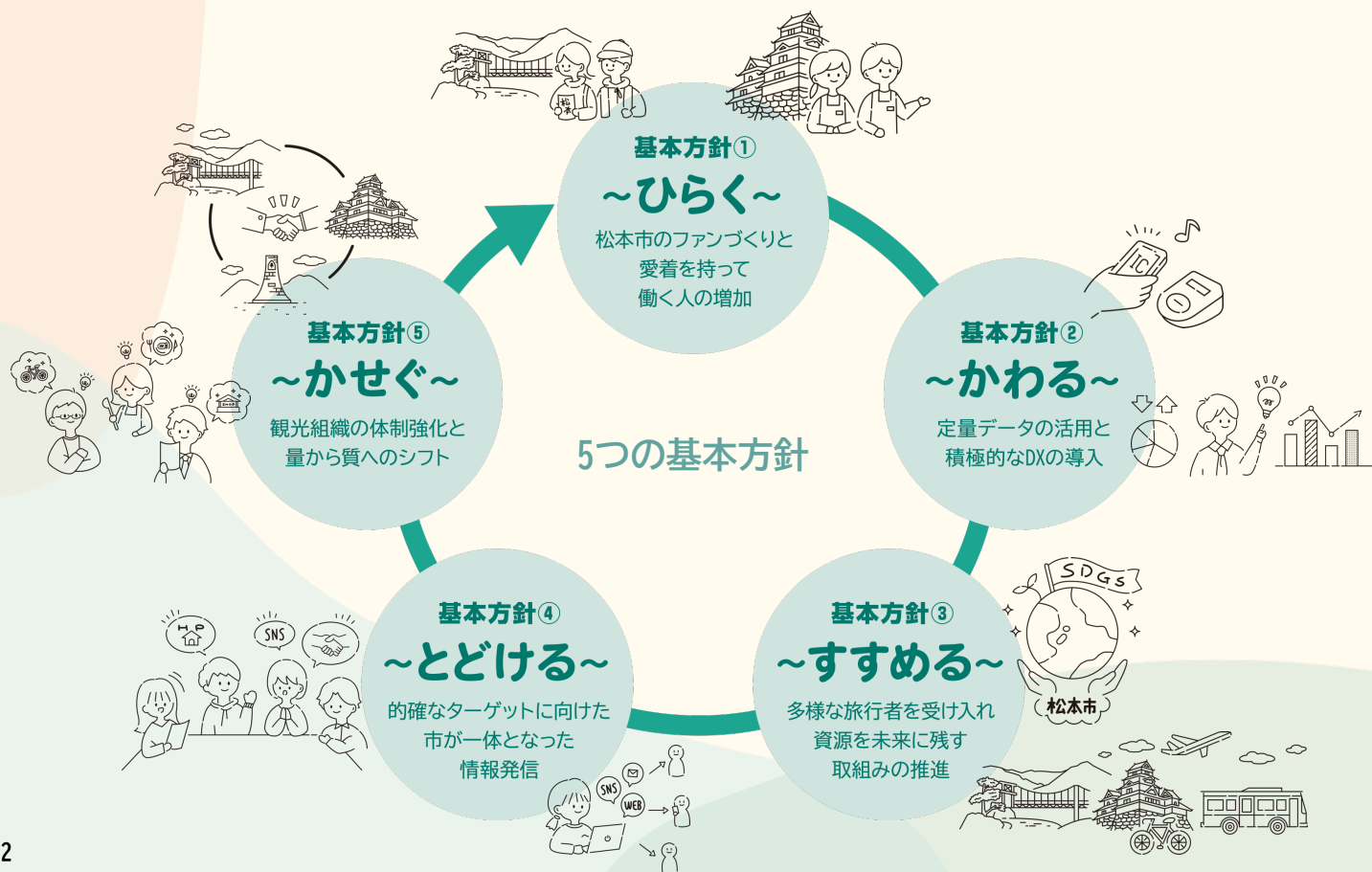
キーワード⑥ 観光産業全体でのDX化

キーワード⑦ インバウンドの受け入れ促進

キーワード⑧ 交通手段の充実化と利用促進

策定された基本方針

松本市が目指す観光の姿は、観光産業を営む事業者の方々が経済的にも精神的にも幸福であること、そしてそこに住まう人の地域への愛が旅行者にも伝わることで、旅行者に松本市の持つ文化・歴史・芸術性・環境への興味や愛着を持ってもらうことです。そうした環境づくりを目指し、全部で5つの基本方針を定めました。



具体的な施策・事業例

基本方針①~ひらく~の施策・事業例	短期	中期	長期
旅行者に対する満足度調査の実施	○		
「短い市民」「松本ファン」の増加		○	
松本市のファンを増加させる仕組み作り			
ふるさと納税等の活用	○		
フィルムコミッション・スポーツコミッションの強化	○		
労働力不足を補うための施策の検討		○	
労働力定着・確保のための仕組み作り			○
副業人材の採用・業務分業・短時間勤務による雇用促進の検討		○	
労働生産性の調査	○		
地域住民・事業者を対象とした観光に関する満足度調査の実施	○		
地域住民・事業者のウェルビーイング向上		○	
中小高等学校や大学等での学習や連携を通じた地域観光人材の育成			○
地域住民を対象としたモニターツアーの実施	○		
地域住民への観光の取組みの情報発信	○		
従業員の満足度向上に向けたセミナー促進事業		○	
ガイドの育成	○		
自然・文化等の知的好奇心・探求心に応えられる有料ガイドの育成	○		
市内全域及び周辺地域を案内可能なスルーガイドの育成	○		
基本方針②~かわる~の施策・事業例	短期	中期	長期
継続的なデータ収集と分析	○		
旅行者調査の分析と統計整備			
市内宿泊施設と連携したデータ取得・分析ツールの仕様検討と開発・実装			○
冬季観光の強化による需要平準化	○		
年間を通じて楽しめるモデルコースの検討・造成	○		
冬季の観光コンテンツの検討・造成	○		
オーバーツーリズム対策	○		○
高付加価値コンテンツ・プランの検討・造成	○		
変動価格制の導入の検討			
松本城・上高地への一極集中化解消に向けたコンテンツ開発やモデルコース造成	○		
観光DXの導入	○		
キャッシュレス・オンライン予約環境整備	○		
ICTを活用した業務効率化・省人化・無人化推進		○	
基本方針③~すすめる~の施策・事業例	短期	中期	長期
ゼロカーボン・SDGsの推進		○	
旅行者によるカーボン・オフセットの整備・推進			
乗鞍エリアのゼロカーボン推進	○		
観光関連施設でのSDGs対応	○		
文化観光の推進	○		
文化資源の保護と文化資源を活用した情報発信及び都市文化の磨き上げ	○		
交通の整備・利用促進	○		
信州まつもと空港の利用促進	○		
バスや自転車等の二次交通の整備及び利用促進、二次交通を活用した周遊促進	○		
MaaSや新たな交通手段を用いた実証事業			○
多様な旅行者の受入環境整備	○		
高齢者、障がい者、LGBTQ、ムスリム等に対応するための受入環境整備・改修	○		
多様な食習慣に対応するための新たなメニュー開発や受入環境整備	○		
観光関連施設等の管理・改修	○		
観光関連施設、駐車場、駐輪場等の整備・管理・改修	○		
インバウンド受け入れに向けた観光関連施設の多言語化等の受入環境整備	○		
自然環境と生物多様性の保全や登山道・遊歩道の整備	○		
自然災害などのリスク管理強化		○	
安全な観光地づくり・環境整備			○
災害時における旅行者に向けた情報発信手段の構築		○	
基本方針④~とどける~の施策・事業例	短期	中期	長期
情報発信の一元化	○		
既存の情報発信主体の一元化			
情報発信プラットフォームを活用した効果的な情報発信		○	
観光関連団体及び事業者等との連携強化・情報共有	○		
地域一体となったMICE、教育旅行の誘致強化	○		
国内外の大規模イベント・催事・商談会への出展	○		
観光事業者との継続的な情報共有の場の運営	○		
誘客プロモーションの強化	○		
市内イベントの実施	○		
国内誘客プロモーションの実施	○		
広域連携事業の推進	○		
関連自治体や広域観光連盟等との連携強化	○		
交通事業者との連携強化	○		
基本方針⑤~かせぐ~の施策・事業例	短期	中期	長期
観光組織の体制強化とプロ経営者の登用	○		
松本観光コンベンション協会の体制強化とアクションプランの策定	○		
市街地、西山エリア、東山エリアの連携強化	○		
官学連携による観光地域マネジメント人材の育成	○		
新しい企画を推進するプロ経営者や専門人材の登用	○		
法定外目的税導入の検討		○	
宿泊税等の導入の検討			
新たな観光コンテンツの造成	○		
新たな観光コンテンツの検討・造成及び既存コンテンツの掘り起こし	○		
食を活用した観光の推進・生産者とのマッチングシステムの検討			○
インバウンドの受入強化	○		
戦略的ターゲット設定と、それに合わせた受入環境の整備	○		
多言語メニュー作成の支援	○		
インバウンド向けプロモーションの実施	○		